

(別添資料1)

事業所名

サンジュニア

支援プログラム（様式）

作成日

令和7年

1 月

20 日

法人（事業所）理念		すべての人が安心して挑戦し、活躍できる未来へ。							
支援方針		光の中のような居場所を目指して。あたたかい支援の中で、生きる力を身に付ける。							
営業時間		学校開校日	9 時	30 分	から	18 時	30 分	送迎実施の有無	あり
		学校休校日	9 時	0 分	から	17 時	0 分		
本人支援	サンジュニア4つの支援目標	支 援 内 容						活動例	五領域
	身辺自立	食事や排せつなど生活に必要なスキルの獲得から、お手伝い（片付けや掃除など）を通して将来的な自立に向けて基礎作りに取り組む。お子さんの発達段階やペースに配慮しながら、ご家庭と二人三脚で支援を行う。						調理実習、買い物、摂食支援、トイレトレーニング、着脱、お手伝い等	健康・生活
	運動発達	専門職による指導の下、日常生活スキルの向上や運動機能の向上に取り組む。発達を促し、学校生活や集団生活での困り感を軽減する。						PTによる専門的支援、感覚統合運動、サーキット、ボール遊び、縄跳び、散歩、製作、数字タッチ、等	運動・感覚認知・行動
	コミュニケーション力を育む	遊びや生活の中で他者との関りを学び、「伝える」「聞く」「相手の気持ちを考える」といった基本的なスキルを身に付ける。特性を理解し、丁寧な支援を行う。						STによる専門的支援、SST、カード遊び、集団活動等	言語・コミュニケーション
	社会性獲得の基礎を築く	集団活動を通じて「ルールを守る」「順番を待つ」「協力する」などの社会性を育む。社会で生活していく上で必要なマナーや他者との関わり、トラブルの解消の方法を様々な経験を通して学ぶ。						ごっこ遊び、外出行事（公園やイベント）、余暇支援等	人間関係・社会性
家族支援		子育てに関する困りごとの相談援助や保護者対象の講習会、保護者同士の交流を図るイベントや行事を実施する。					移行支援	学校や家庭、他事業所と情報を共有し、利用児の現状を把握する。グループ内での移行をスムーズにするための見学や体験の実施。	
地域支援・地域連携		地域の施設（児童館や学習センター）や商店に出かけ、地域で生きる力を身に付ける。ボランティアを受け入れ、地域の方との交流を図る。					職員の質の向上	研修会への参加、伝達講習会や社内研修の実施	
主な行事等		保護者交流イベント、避難訓練、夏休みイベント（例：マジックショー、フラダンス等）、農業体験（苗植え、収穫）、季節の行事（節分、ひな祭り、クリスマス会等）							